

## 学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、専修学校麻生ビューティーカレッジの学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

# 学校関係者評価報告書

専修学校 麻生ビューティーカレッジ

平成30年 8月31日

校 長 林 宏 治

自己点検・評価責任者

校長代行 佐 伯 京 子

### 目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 2 -
3. 学校関係者評価委員会 出席者	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時	- 2 -
5. 学校関係者評価方法	- 2 -
II. 学校関係者評価内容	- 3 -
基準 1 理念・目的	- 3 -
基準 2 教育の内容	- 4 -
基準 3 教育の実施体制	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度	- 7 -
基準 5 学生支援	- 8 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7 社会的活動	- 11 -
基準 8 管理運営・財務（学校・グループ）	- 11 -
基準 10 改革・改善・情報提供	- 13 -

※基準9は評価対象外

平成29年度  
(2017年度)

# I. 学校関係者評価の概要と実施状況

## 1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、専修学校麻生ビューティーカレッジの自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

## 2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

## 3. 学校関係者評価委員会 出席者

区分	氏名	所属
業界関係者	杉馬場圭司（代理出席）	株式会社ダリア 福岡営業所 所長
高 校	永末里志	博多女子高等学校 理事長・校長
地域住民	亀岡正茂	舞鶴2丁目1区 町内会長
卒業生	原田七海	株式会社田谷 TAYA 天神店
保護者	友岡貴昭	ビューティースペシャリスト科の保護者

※区分別、敬称略

## 4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成30年7月6日（金）10:00～11:45

場 所：専修学校麻生ビューティーカレッジ 4F 401 教室

## 5. 学校関係者評価方法

平成29年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、

下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

### ※参考 自己点検・評価における達成度の評定

S:達成度がきわめて高い

A:ほぼ達成している

B:達成がやや不十分であり、若干改善を要する(要観察:放置すると不適合になる)

C:達成は不十分で改善を要する(不適合)

## Ⅱ. 学校関係者評価内容

### 基準 1 理念・目的

#### 基準1 総括

理念や教育目標について、教職員には学内キックオフ(年度方針発表)の場で共有し、学生には入学時のオリエンテーション、GCB(グローバルシティズンベーシック)授業、学生便覧などを通して周知を図っている。また、外部に対する公表は、28年度の課題であった Web サイトをリニューアルし、より分かりやすく発信できるようになった。

#### 見つかった課題

学校法人としての教育理念に基づいて、教育目標等を掲げている。今後、教育理念に基づいた教育内容を定期的に見直しおよび非常勤講師への浸透が必要である。

#### 改善策又は改善の方向性

法人の教育理念をふまえ、美容業界を目指す人材教育に適する内容となるように整備していく。  
非常勤講師への浸透を図る。

#### ■学校関係者評価結果: 適正

#### 学校関係者評価 評価者のご意見

教育を受ける立場では、常勤、非常勤は関係ない為、完全周知が必要である。また発信するだけでなく、周知できたかの確認もお願いしたい。

#### 中項目 1-1

建学の精神・法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像を明文化し、学校構成員で共有し、社会に公表しているか。

#### ■学校関係者評価結果: 適合

#### ■自己点検・評価結果: A

#### ■中項目総括

非常勤講師への周知徹底が課題。周知・徹底において改善を図る。

#### 小項目 1-1-1

法人創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知する機会を設け、社会に公表しているか。

#### ■自己点検・評価結果: B

#### ■コメント

建学の精神の周知、および非常勤講師への周知徹底が課題。

#### 小項目 1-1-2

「学校の教育理念」は明文化し、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生としてふさわしい資質として周知させているか。

#### ■自己点検・評価結果: A

#### ■コメント

入学説明会、入学時オリエンテーション等の学校行事、入学後はクラス担任の GCB 授業等で理解させている。今後更に、美容業界を目指す人材として周知・徹底を図る。

#### 小項目 1-1-3

「学校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。「学校の教育理念」は社会に公表しているか。

#### ■自己点検・評価結果: A

#### ■コメント

次年度の計画を立てる際に外部環境等に照らし合わせて見直しを検討し、確定したものは、学内キックオフや教職員会議、非常勤講師会で共有を図っている。今後は、非常勤講師への周知の改善を図る。

#### 小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「学校の教育理念」から導き出されたものになっているか。またそれらを文書化し社会に公表しているか。

#### ■自己点検・評価結果: A

#### ■コメント

教育目的や人材育成像は、学科ごとに成文化して、周知されている、社会状況の変化に対応した内容となるように見直しも行い社会に公表していく。

#### 小項目 1-1-5

教育課程(カリキュラム表など)を文書化し、学生に提示し、学生は内容を理解しているか。またそれらを社会に公表しているか。

#### ■自己点検・評価結果: A

#### ■コメント

カリキュラム表を Web サイト情報公開にて公表している。また、学生に対しては入学時に配布する学生便覧にて課目の構成等を提示している。さらに学生の理解向上に努める必要はある。

## 基準 2 教育の内容

### 基準 2 総括

育成人材像に向けたカリキュラム編成など教育内容の充実を図るために継続して取り組んでいる。昨年度の課題であったリメディアル教育(導入前教育、補習)への取り組みも新たにスタートした。今後は、組織的な取り組みとして可視化できるよう、更なる改善に努める。

### 見つかった課題

組織としての計画や取り組みの記録

### 改善策又は改善の方向性

教育の内容の記録書式を整備し、カリキュラム、シラバス、コマシラバスの作成、授業運営、評価、改善計画までが確認できる運営体制を目指す。

### ■学校関係者評価結果: 適正

#### 学校関係者評価 評価者のご意見

・入学前より、e ラーニングを用いて、学習できる環境づくりは素晴らしい。学生が「美容師になりたい」という思いが建学の精神に繋がっていく。入学前が重要で、入学後は学生に夢を与えるのではなく夢を教える事が大事である。

「努力しない人間は光らない。」

・最近は何故、美容師になりたいかが解らない人が多いように感じる。(動機が薄い若手美容師)

学校として、就業意欲を高めるような取り組みをお願いしたい。

・検定、資格は「目的」を明確にする。学生が受け身ではダメ。時と場合により学生には全体周知ではなく、個別での対応も必要だと感じる。

・外部講師による授業科目において、常勤教員による管理体制を、さらに強化していただきたい。

### 中項目 2-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みをしているか。

### ■学校関係者評価結果: 適合

### ■自己点検・評価結果: A

### ■中項目総括

学校としての育成人材像に向けた学習到達スケジュールは共有されているが、学科ごとのカリキュラム・ポリシーをより詳細に成文化し、エビデンスとなる記録書式および共有・周知(非常勤講師含む)の徹底が必要。

### 小項目 2-1-1

カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)として、卒業認定のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するか等の基本的な方針を定めているか。

### ■自己点検・評価結果: A

### ■コメント

今後、結果及び成果を高めるためにカリキュラムの見直しを図り、より詳細なディプロマ・ポリシーを成文化する。

### 小項目 2-1-2

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか。

### ■自己点検・評価結果: A

### ■コメント

今後、教育編成課程委員会等の議事録を Web 等で公表していく必要がある。企業訪問時の面談報告書も教職員(非常勤講師含む)で共有する。

### 小項目 2-1-3

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバスを作成しているか。シラバスは事前に学生に配布しているか。

### ■自己点検・評価結果: A

### ■コメント

シラバスの共有において、改善の必要がある。

### 小項目 2-1-4

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者を入れて、カリキュラム改善のために意見を取り入れているか

### ■自己点検・評価結果: B

### ■コメント

カリキュラム作成においては、広報担当者から高校関係者のヒアリング情報及び業界ニーズを取り込み、就職担当者から業界情報を教務にフィードバックし、カリキュラムをさらに充実したものとする。

### 小項目 2-1-5

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

### ■自己点検・評価結果: B

### ■コメント

カリキュラムは教務会議やカリキュラム会議等で検討し、学科間の整合性を図り、検証・見直しを行っていく。

### 中項目 2-2

教育方法は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

授業目的、内容にあった授業方法を選択し、実施している。評価については、さらに客観性、厳格性を追求していく。

小項目 2-2-6

授業方法は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学生アンケートによる評価は高く、計画に基づき教育を行なっている。授業の進め方等、改善を図っていく。

小項目 2-2-7

コマシラバスを作成し、授業の中で概略と到達点を学生に周知しているか。シラバス・コマシラバスに基づいて授業を展開しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

シラバスの学生への提示状況は授業アンケートで確認できている。加えて、教員全員(非常勤講師含む)がシラバス、コマシラバスに基づいて適切に授業展開していることを確認できる記録体制を強化する。

小項目 2-2-8

学習の評価は適切に行なっているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

適切に行っているが、一部客観性、厳格性を高める必要がある。

中項目 2-3

教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みをしているか。

■学校関係者評価結果：不適合

■自己点検・評価結果：C

■中項目総括

学生評価結果に基づく改善指導において、組織的・計画的に今後、改善していく。

小項目 2-3-9

学生による授業評価を定期的に行なっているか。評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果：C

■コメント

授業評価は、毎年行い、改善を図っているが、改善計画および進捗管理において改善の必要がある。

小項目 2-3-10

学生による授業評価以外で、授業改善のための取組みを組織的、計画的に行なっているか。(授業改善委員会、FD等、名称問わず)

■自己点検・評価結果：C

■コメント

授業や実習の内容については、美容業界と連携した教育課程編成委員会及び非常勤講師会での意見検討や、学科会議を通じて内容の見直しを行なっている。授業改善に関しては、計画的に行う点において今後、改善していく。

小項目 2-3-11

教員の専門性や指導力等の維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果：B

■コメント

研修には参加し、能力向上を図っている。共有・検証・評価についても今後、改善に取り組んでいく。

中項目 2-4

業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

職場実習は毎年適切に実施できている。今後は、入学後の学習がスムーズに進められるようリメディアル教育に力をいれていく。

小項目 2-4-12

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

インターンシップでは、評価表以外にも職員が実習先へ出向き現場の声を聞いている。

小項目 2-4-13

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

GCB 授業及び就職実務関連行事において実習を行い、キャリア発達を促している。ただし、教職員が「キャリア教育・キャリア発達」の定義を更に十分理解できるようにしていく必要がある。

小項目 2-4-14

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果: B

■コメント

基礎学力向上ツールとして、eラーニングの導入を検討した。今後しっかりと計画をたてて実施していく。

基準 3 教育の実施体制

基準 3 総括

教育の実施体制としては、法令を遵守し、必要な教員組織(常勤、非常勤)、施設等、教育環境は整備・活用は概ねできている。

見つかった課題

非常勤講師との情報交換としての授業報告書の確認。

改善策又は改善の方向性

講師会で年に2回、運営方針、授業運営についての全体共有をする機会を設けているが、日常の状況を共有するツールとしての授業報告書をさらに活用するよう改善を図る。

■学校関係者評価結果: 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・法令を遵守し、整えられた教育環境での実施体制は適正と思われる。

=====

中項目 3-1

専修学校設置基準その他法令を遵守しているか。

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: S

■中項目総括

法令を遵守している。

小項目 3-1-1

教員は法令が定めた教員要件を満たし、必要な人員を適切に配置しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

関係法令に基づき、教員の採用は厚生労働省の資格要件に定められている事項に留意して募集活動を進め、業界の専門性及び経験、必要な資格・教育に対する意欲等を持った教員を採用している。

小項目 3-1-2

校地・校舎・講義室・実習室等の面積は、設置基準その他法令の基準を満たしているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

校地・校舎等は専修学校設置基準、厚労省養成施設指定(施行)規則の面積を満たし、必要な付帯施設を備えている。

中項目 3-2

教育の実施体制を整備しているか。

■学校関係者評価結果: 適合

■自己点検・評価結果: A

■中項目総括

教育の実施体制は概ね整備できているが、さらなる改善が求められる部分が各項目に見受けられる。

小項目 3-2-3

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常勤講師の配置において改善を図っていく。

小項目 3-2-4

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

授業実施報告書による報告や、授業の内容や学生の状況等、非常勤講師とクラス担任とで適時情報交換を行なっていく。

中項目 3-3

教育環境を整備・活用しているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

■中項目総括

教育環境を整備・活用している。防災・防犯設備について、全教職員の理解において改善の必要がある。

小項目 3-3-5

実習で使用する学校設備機器、机・イス等の教育備品・教具等を整備し、管理体制を備えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

教育備品・教具等を整備し、管理体制は整っている。

小項目 3-3-6

学内外実習時の安全対策を立案・文書化し、十分な対策を取っているか。対象となる学生にはそれらを十分理解させたうえで実習に参加させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

企業様への依頼文で周知徹底している。

小項目 3-3-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

防災・防犯設備は定期的に整備・点検されている。ただし、教職員が防災・防犯設備についての理解において改善を図る。

小項目 3-3-8

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所があり、活用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

専門職員が就職支援を行う指定された場所があるが、学生の利用状況について今後把握していく必要がある。

小項目 3-3-9

図書室・図書コーナーがあり、教員や学生が利用できる関連図書等を備えて活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

環境は整っており、学生は、活用できている。

基準 4 教育目標の達成度

基準 4 総括

教育目標は年初に設定・共有し、毎月の進捗管理を実施しており、実績についても共有・公表している。

見つかった課題

ディプロマ・ポリシーの整備  
改善策の有効性の検証

改善策又は改善の方向性

学科としての教育目的・ディプロマ・ポリシーをより詳細に明確にするための整備、および結果を受けての改善策の有効性を検証できる体制を目指す。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・教育目標の達成度が、クラス運営報告書・モニタリングシート・教職員会議等で定期的に確認されており、目標達成に向けた取り組みが行われている。

## 中項目 4-1

各学科の教育目的に向けた達成度および成果を評価・公表しているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

各学科の教育目的にそって、資格・検定、就職内定、卒業率などの達成度、成果については、記録し、検証・報告を行い、毎年公表している。小項目のコメントに記載されている、更に教育効果を高める課題については次年度取り組んでいく。

## 小項目 4-1-1

ディプロマ・ポリシー(卒業認定の基本方針)として、どのような力を身に付けた者に卒業を認定するか基本的な方針を定めているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

今後、結果及び成果を高めるためにカリキュラムの見直しを図り、より詳細なディプロマ・ポリシーを整備する。

## 小項目 4-1-2

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また適切な評価を行ない、結果について記録し、検証・報告したか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

常勤教員の間では、目標設定し、評価を行い、結果について記録し、検証・報告している。更に教育効果を高めるために、非常勤講師との共有において改善していく。

## 小項目 4-1-3

いわゆる「養成校」の国家資格試験および公務員試験の合格率・合格者数等の目標を設定・共有し、結果を検証し改善等しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

毎年、改善は行っているが、効果的であったかどうか有効性について、更に詳細な検証が必要である。

## 小項目 4-1-4

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

目標の設定・共有、結果についての検証・報告・公表はできている。更に効果性を高める必要がある。

## 小項目 4-1-5

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果：S

■コメント

就職活動を記録し、結果、検証、報告、公表している。

## 小項目 4-1-6

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

卒業率のアップに関して、目標の設定・共有、退学を防止する活動を行い、数値の公表はできている。特に今年度 1 年次入学早期の友人づくりのためのクラス行事の導入、入学早期のタイムリーな個人面談の強化を図り、効果をあげることができた。今後、退学防止に関して改善を図る必要がある。

## 基準 5 学生支援

## 基準 5 総 括

在校生および卒業生の支援体制は整備され、適切に運用されている。

## 見つかった課題

学生との面談内容を完全に記録していないことと、卒業生のキャリアアップに向けた教育(研修)。

## 改善策又は改善の方向性

学生との面談記録を徹底することと、卒業生のキャリアアップに向けた教育(研修)体制の検討。

■学校関係者評価結果：適 正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

・面談記録体制に関して、すべての面談を記録するとなると、担任の負担が増えると思われる。

・課外活動を学生がする場合、怪我がつきもの。美容は手、指先が大事な仕事なので、その点を配慮して、学生に部活動指導を行っていただきたい。

## 中項目 5-1

学生支援体制を整備し、支援を組織的に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A



## ■中項目総括

学生支援体制は整備され、支援を適切に行っているが、今後は、学生面談において、問題があるケースにおける記録の徹底を図る必要がある。

## 小項目 5-1-1

教員による学生の面談を定期的に行ない、適切な支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

計画的に面談を行っているが、問題があるケースにおける記録にしぼられていたため、すべての面談について記録をしていくこととする。

## 小項目 5-1-2

保護者と計画的な相談や面談を行ない、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

計画的に、三者面談を実施し、本人および保護者に適切な説明を行っている。入学前の説明会、入学後は、就職に関する説明会、あわせて希望者には個別相談を行っている。

## 小項目 5-1-3

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー等)を配置し、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

CDA(キャリア・デベロップメント・アドバイザー)有資格者を 1 名配置し、適切な就職指導を行っている。また、グループ内のキャリアカウンセラーと連携し、学生向け、教員向け研修も実施している。今後は、計画的な CDA 取得者の養成を行う必要がある。

## 小項目 5-1-4

スクールカウンセラーを配置し、教員以外に相談できる体制を整えているか。

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

スクールカウンセラーが、月に 2 回来校し、学生が自由に相談できる体制を整えている。ただし、利用率が低いので、今後の運用に向けて、満足度調査を行う。

## 小項目 5-1-5

ハラスメント防止に関する相談窓口を設置し、学生に周知し、有効に活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

ハラスメント委員を、配置し、学生および教職員に周知している。

## 小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

経済的支援については、入学前は募集要項およびオープンキャンパスにおいて、説明し、入学後の経済的支援制度についても、各クラスで説明し、募集を募り、効果的に運用している。

## 小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

留学生、社会人学生、障がい者等の受け入れにを適切に行い、支援も行っている。留学生については、国際交流センターと協同して、円滑に受け入れができるよう、学習支援、生活支援を行っている。また、後期授業料免除制度も整え、支援している。

## 小項目 5-1-8

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： B

## ■コメント

今年度は、希望者がいないため、課外活動を行っていない。

## 中項目 5-2

卒業生等に対する支援を行なっているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： A

## ■中項目総括

卒業生に対して、就職定着支援、職業紹介を実施し、支援を行っている。今後は、卒業生の成長に向けて、キャリア研修の実施を検討していく必要がある。

## 小項目 5-2-9

卒業生の就業先へ定期的な訪問をし、1 年後の在籍状況を把握しているか。また、キャリア教育の成果を把握して、学校の

教育活動に活用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

卒業生の就職先へ定期的に訪問し在籍情報を把握している。特に離職目的で、気になる卒業生の情報を得た場合は、優先して訪問を行っている。このような活動を周知する意味で、企業向けリーフレットに取り組み内容を記載した。また、出張後は就職課員が教職員に情報を共有し、教育活動に活用できている。

小項目 5-2-10

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

卒業生に対しての職業紹介を行っており、毎年、効果を上げている。ただし、卒業生向けのキャリア研修は実施していない。

基準 6 学生募集・受け入れ

基準 6 総括

学生募集活動は、適正に行われ、入学選考も公正かつ適切に実施している。

見つかった課題

大きな課題は見つからない。

改善策又は改善の方向性

特になし。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・職業教育を行ない、技術を磨くだけでなく、マネジメントを含め即戦力を育てていくことができる専門学校は今後も必要である。

中項目 6-1

学生募集活動を適正に行ない、入学選考を公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

■中項目総括

適正な方法で募集活動を行っており、入学選考に関しても公正かつ、厳格体制で行っている。

小項目 6-1-1

アドミッションポリシー(学生の受け入れ方針)を定め文書化し、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項に明確に記載し、学校が求める資質、人間性を示している。

小項目 6-1-2

高等学校を定期的に訪問し、高校生の進路ニーズを把握し、学生募集活動に反映させているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

広報担当者 1 名を配置し、高校を定期的に訪問し、進路指導主事、3 学年担任と情報交換、在校生状況報告、業界情報を伝えている。高校側から得た情報は、学内会議において、共有、検討を行っている。更に麻生専門学校グループ各校の広報担当者から得た情報も共有している。

小項目 6-1-3

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果を、正確に伝えているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

パンフレット、ホームページ上で最新の情報を掲載し、随時更新を行い、正確に伝えている。

小項目 6-1-4

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等を明示しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

学校パンフレット、募集要項には全て記載しており、その他の制作物においても取得できる資格や就職実績は記載している。

小項目 6-1-5

募集要項等には学費・教材費等をわかりやすく明示し、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項には明確に費用を記載し、項目ごとにわかりやすく明示している。

小項目 6-1-6

募集要項等には入学者の選抜方法を明示し、選考を公正かつ適切に実施し、毎年検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

募集要項には、選抜方法をわかりやすく明示している。入学者選考は公正かつ適切に運用しており、更に実施方法や選考基準についても、定期的に検証を行っている。

小項目 6-1-7

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果: A

■コメント

定員に関しては、適切に管理し、毎年見直しの検討も行っている。今後は、入学定員の更なる充足を図っていく必要がある。

基準 7 社会的活動

基準 7 総括

社会的活動を学校として推奨し、計画的、組織的に取り組みを行い、地域社会に貢献することができている。

見つかった課題

公開講座は現在実施していない。

改善策又は改善の方向性

公開講座については、ニーズにおいても、また実施体制においても、今すぐにはできる体制ではないが、将来的な課題として、残しておきたい。

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

・保護者が子供の状況がより理解ができるという観点から、保護者に対しても施術を行う機会を設けられたら良いと思う。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会的活動への取り組みを推進しているか

■学校関係者評価結果:適合

■自己点検・評価結果: S

■中項目総括

社会的活動を学校として推奨し、計画的、組織的に取り組みを行い、地域社会に貢献することができた。

小項目 7-1-1

学生に対し、計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果: S

■コメント

社会的活動を推奨し、積極的に行っている。毎朝の教員と学生による地域清掃、福祉施設訪問をしての美容ボランティア、各種ボランティア募集への応募等行っている。

小項目 7-1-2

学校は教育資源を生かした地域住民参加の公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果: C

■コメント

公開講座は、地域のニーズおよび学内体制により、現在は実施の予定はない。

小項目 7-1-3

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント

高等学校内での職業理解のためのガイダンスや「お仕事スタジアム」を通じた高校生の職業理解促進を行っている。行政機関からも各種啓発事業におけるボランティア募集があり、積極的に参加している。更に、企業(百貨店)からの要請および学内の「チャリティサロン」において、美容の施術を通して、日ごろの授業成果を発揮している。

基準 8 管理運営・財務(学校・グループ)

基準 8 総括

学校の管理運営体制は、適切に行われており、財務運営も適切に行われている。

見つかった課題

校務分掌の業務内容の周知と学生も参加した避難訓練の実施及び各教職員の予算管理に關しての把握。

改善策又は改善の方向性

校務分掌の業務内容の周知を行い、避難訓練においては、次年度は学生も参加して実施する。更に予算管理においては、各教職員に費目ごとの予算の理解と運用方法の指導を行う。

■学校関係者評価結果:適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし。

=====

### 中項目 8-1

学校の管理・運営体制を確立して、規程通りに運営しているか

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

学校の管理・運営体制は確立され、規定通りに運営されている。職務分掌の業務内容の周知、学生も参加した避難訓練の実施が今後の課題として取り組んでいく必要がある。

-----

#### 小項目 8-1-1

各学校、各グループで運営会議(教務会議・グループ会議等)を定期的に行い、進捗・課題・成果を共有しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

毎月責任者会議、学科会議、広報会議、教職員会議等を実施し、改善に取り組み、進捗管理を行っている。議事内容は議事録に記録として残し、共有を確実にしている。

#### 小項目 8-1-2

各学校および各グループの構成員全員の職務分掌(業務の内容および責任・権限)を文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

職務分掌は定義されて、教職員に周知されている。ただし、業務の内容について、教職員に対し、更なる周知徹底をする必要がある。

#### 小項目 8-1-3

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化しているか。また、避難訓練等を定期的に行っているか

■自己点検・評価結果：B

■コメント

防災・防犯対策、非常時対策は文書化し、組織化はしている。避難訓練は、教職員のみで実施し、避難手順および誘導方法を共有した。次年度は学生も参加した避難訓練を実施し、定期的に行っていく体制としていく。

#### 小項目 8-1-4

個人情報保護規程を教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

個人情報に関しては、ルールブックに規定され、適切に運用しているが、より厳密に運用を徹底できるよう改善を図る必要がある。

#### 小項目 8-1-5

ハラスメント防止に関する規程を学校構成員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント

ハラスメント防止に関しては、ルールブックに規定され、学校内にも委員を配置し、教職員および学生に周知し、適切に運用している。

#### 小項目 8-1-6

事務職員の意欲・資質の向上を図るために、研修計画を作成し、実施しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

学外で開催される公開講座および学内の研修会に事務職員が参加する場を積極的に設けた。ただし、計画的な実施には至らなかったため、今後は課題解決のための育成計画を策定する。

### 中項目 8-2

学校の財務体質は健全であり、財務運営は適切に行なっているか。

■学校関係者評価結果：適 合

■自己点検・評価結果：A

■中項目総括

学校全体の予算管理は適切に行われているが、教職員へ各費目に関する予算管理の認識を徹底させる必要がある。

#### 小項目 8-2-7

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果：A

■コメント

年度予算は毎年、検討を重ね、適切に策定されている。中期計画は、より詳細な計画が今後必要である。

#### 小項目 8-2-8

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果：A

## ■コメント

学校全体の予算管理は毎月、適切に行い、課題を抽出している。予算執行や現預金、伝票の確認は上長が厳格に行っている。教職員へ各費目に関しての予算管理の認識は徹底させる必要がある。

## 小項目 8-2-9

固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

固定資産管理規定に基づき、管理台帳を使い、適切に管理運用している。

## 小項目 8-2-10

図書(固定資産)を適切に管理・運用しているか。(該当校)

■自己点検・評価結果： B

## ■コメント

毎月、図書委員が在庫管理を適切に行っているが、在庫管理の確実な徹底を行う必要がある。

=====

**基準 10 改革・改善・情報提供**

=====

## 基準 10 総括

自己点検・改善活動は、計画的に組織的に実施されている。また、情報提供についても、適切に行われている。

## 見つかった課題

自己点検・改善活動・情報提供に関する意義や目的について教職員への周知。

## 改善策又は改善の方向性

自己点検・改善活動・情報提供に関する意義や目的を教職員会議などの場を通し、周知を図っていく。

■学校関係者評価結果：適 正

## 学校関係者評価 評価者のご意見

- ・根本的に学校をより良いものにしていくという思いと改善をしようとする事が大事であり、改善活動がこのように組織的に実施されているのは素晴らしい。
- ・限られた機会の中で、教育を行っているが、実際知識だけであるので、実践力をいかにつけさせていくことが、今後の課題である。

## 中項目 10-1

自己点検・評価活動の実施体制を確立して、改革・改善のためのシステムが稼働しているか

■学校関係者評価結果：適 合■自己点検・評価結果： A

## ■中項目総括

自己点検・評価活動は、組織的に行われている。改善活動の意義、目的について、更に全教職員に周知する必要がある。

## 小項目 10-1-1

自己点検・評価の意義を全教職員に伝え、点検・評価活動の方法や評価基準を共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

責任者会議にて、検討を重ね、教職員会議にて、全教職員に伝達し、共有を行った。全教職員の理解は深まってきているが、全ての教職員が、更に本質的に理解していく必要があるため、今回の自己点検においては、全員参加型での自己点検活動を行った。

## 小項目 10-1-2

自己点検・評価を実施し、その結果に基づいて、改善計画を作成・実施し、結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果： A

## ■コメント

平成 28 年度の自己点検活動における課題を平成 29 年度の活動の中で改善を図った。改善についての記録を次年度は整備する必要がある。

## 小項目 10-1-3

自己点検・評価報告書は、公開に際して外部の方にわかりやすいような表現にしたり、必要な解説を加えたか。

■自己点検・評価結果： S

## ■コメント

公表内容に関しては、責任者会議にて、検討を行い、わかりやすい表現とした。

## 中項目 10-2

公的な教育機関として、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を積極的に提供しているか。

■学校関係者評価結果：適 合■自己点検・評価結果： S

## ■中項目総括

情報提供を積極的に、効果的に行っている。

## 小項目 10-2-6

法令およびガイドラインに従い積極的に情報提供の取り組みを行なっているか。

■自己点検・評価結果:  A

## ■コメント

法令およびガイドラインに従い、情報提供を積極的に推進している。今後は、その目的や意義について、全教職員が理解できるよう周知していく必要がある。

## 小項目 10-2-7

提供している情報はガイドラインに示された項目に沿ったものであるか。

■自己点検・評価結果:  S

## ■コメント

自己点検した内容をもとに、学校関係者評価委員会が開催され、出された意見は、学校の運営および改善活動に活かされている。出された意見は、議事録として、記録として残している。

## 小項目 10-2-8

情報提供は対象者に合わせて情報の内容や提供手段を工夫し、わかりやすく効果的であるか。

■自己点検・評価結果:  S

## ■コメント

情報提供は、対象者にわかりやすく工夫している。パンフレットや募集要項、ホームページ等は、毎年改善を重ねている。保護者向け説明会に関しても、アンケート内容をもとに改善を重ねている。